

9月の歌：高校時代の随筆

前書き：この随筆は、9月30日に学校のバスで帰宅する途中に大まかな執筆の構想が浮かび、家に帰ってすぐに頭の中の鮮明な記憶をコンピュータに書き留めました。所要時間：10時間、執筆は少し遅いですが、大きな収穫がありました。個人的な喜怒哀楽（悪く言えば愚痴）も含まれていますが、主にこの1ヶ月間の心の軌跡を記しています。総文字数：8999。書き終えての感想：人生初の大作です。思う存分に語り、爽快でした。通常の読書速度である1分間に1500字で計算すると、訪問者のあなたには5分半しかかかりません（もちろん、もし時間があれば、ゆっくりと読んでください）。感謝の意を込めて、私たちは互いに高め合いましょう。

題記：九月の歌は、時に烈火のように激しく、黄昏の陽光が躍動するかのようであり、時に青煙のように穏やかで、黄昏の陽光は静寂に包まれる。

数日前、学校で随筆を書きたいと思い立ち、自由気ままな筆を執り、心の悲喜を思うままに吐露し、自由自在な表現を楽しんでいました。それはまるで『北大は私の美しくて恥ずかしい夢』に書かれているような――

週記の中には「是」も「非」も存在しない。それは常に「自我」の世界であり、「美」の世界である。私はただ純粋な自己の感情を表現したいだけで、他人の評価は気にしない。たとえ筆致が未熟であっても、それがどうしたというのか？私は16歳だ。未熟さは私の権利であり、私の生命の特質なのだ。

そして、私の「月記」もそうだ。思う存分に語ろう。今月のことを書くにあたって、いくつかの名詞から始めたいと思う。

PPT

これは本当に「PPT」の月でした。数えてみると、私は4つのPPTを作成しました。そして今日、またPPTの課題をもらいましたが、今回は同級生の修正を手伝うだけで済みそうです。最初のPPTは「玉岩中学資優班北大清華サマーキャンプ」で、3週末を費やしました。8月27日にはほぼ完成していたのですが、フォーマットをビデオ形式に変換してより良い再生効果を得ようとしたとき（Office2010には渦巻きのスーパーアニメーション効果があります）、コンピュータが異常にフリーズし、翌日修理に出したところ、返答は「ハードディスクが故障し、メーカーに修理を依頼する必要がある、データが消える可能性があるので、心の準備をしておいてください」

とのことでした。Orz！こんなことが私に起こるなんて.....一瞬にして、《Old Friends》のNのN乗以上の英語学習ビデオ、いくつかの電子書籍の読書ノート、丹念に整理した無敵のプログラミング資料、それは私が偉大なグループに潜って収集した資料で、このグループには本当に感動しました。なぜなら、その中の何人かは非常に無私の奉仕精神を持っていたからです。かつて、メールボックスにはこのグループのメールが数百通も溜まっていて、半年前にはその半分が貴重な学習資料（今ではほとんどが娯楽のもの）で、様々なプログラミング書籍でした。当時、私はこれらの本を一冊ずつ読み終え、読み終えたら無敵になるという夢を持っていました。誰が知るでしょう:) が:(に変わりました。ハードディスクにはいくつかのオスカーフィルムもあり、すべて720pの高画質で、それらは私のスケジュールに組み込まれていて、毎週家に帰って映画を見るのはどんなに楽しいことか。そのPPTも自然と消え去り、跡形もなくなりました。先生に約束した新学期にはこのPPTを完成させて提出できるということも、当然ながら実現できませんでした（新しいハードディスクが戻ってくるのは2週間後で、その間は80Gのハードディスクでなんとか生き延びていました）。最初の週に戻ってきたとき、80Gのハードディスクに何かをインストールする必要がある、Windows7（XPを見下しており、使い慣れていません）とOffice 2010を入れました。この2つの数百ドルのソフトウェアは簡単に海賊版にはできず、まるまる週末を費やしました（ダウンロードが遅く、シリアルナンバーやクラックツールが見つかりにくい）。最後にいくつか使いやすいものを見つけ、海賊版に興味のある人と良いリソースを共有したいと思っています。私にQしてください。2週目の週末、最後の最後になってようやくPPTを本格的に作り始め、慌てて指導教官の図集をPPTにしましたが、コンピュータで表示すると文字が小さすぎて無視できるほどでした。3週目の週末、PPTを快適に完成させ、まるで干上がった大地に激しい雨が降り注ぐかのように、爽快でした！先生に特別にCDを焼いてプレゼントし、先生に渡すときに率直に言いました：「先生、今回は強化版を持ってきました。」^_^。

二つ目のPPTは、「私の姓は李」というスピーチを補助するためのもので、いくつかの単語を投影して、私に少しのヒントを与えるものです。スピーチ中、李姓が世界一の姓であることを数字で説明しようとして、「中国では、14人に1人が中国人です」と言ってしまいました。Omg！重大な政治的ミスです、親愛なる共産党、どうか私を銃殺しないでください。スピーチ原稿は確かに長い時間をかけて準備し、朝に見直し、夜にも見直し、数日間続けました。しかし、スピーチ中にこっそり見てしまい、自分の記憶力の頼りなさに本当に申し訳なく思いました。このPPTにも政治的ミスがあります、「李登輝」が李一族の有名な人物だと書かれていて、PPTに投影されていました。国語の授業が終わると、知識豊富なクラスメートが李登輝のネガティブなニュースを教えてくれました。今日Googleで調べたら、李登輝は日本のA級戦犯靖国神社を参拝した人物でした！それでも百度百科の家族の有名人に載っているなんて（姓の資料は百科で探しました）。若いうちにこんなに多くの政治的ミスを犯してしまったら、将来どうなることか、もし役人になって、メディアの前で、政府報告で間違ったことを言ったら、本当に「黄河に飛び込んでも洗い流せない」でしょう...このスピーチで、本当に多くのことを学びました。私は笑来先生と少し似ていて、「授業前の恐怖症」があります。また、笑来先生について言及すると、彼

は『時間を友とする』という本を書いています。個人的には、これは得難い良い本だと思います。笑来先生は、彼の強力なメンタルパワーを使って、私たちが日常生活で遭遇するほとんどのすべての厄介な状況を説明しています。生活の厄介さを解消したい友達は、ぜひ読んでみてください。笑来先生は、どのようにメンタルパワーを使って解放を勝ち取るかを具体的に教えてください。一節を引用します：

「.....でも、突然、自分が自分の脳をコントロールできる（そしてそもそもそうすべきだ）と気づいたとき、死なずに最初からやり直せるなんて、なんだか不思議な気がした。」

三つ目の PPT は美術の PPT で、中国の建築について話しました。新学期が始まって三回目の授業で、私とクラスメートの必赢（高校入試の広州市化学のトップのクラスメート）が講義を担当することになりました。PPT はまあまあで、彼らの頤和園と蘇州庭園、それにサマーキャンプの PPT で 40 分の授業をこなしました。その日のプレゼンでは、クラスメートの「放蕩息子の改心」が喝采を浴びました。ここで、クラスメートに謝罪します。彼は再三、肖像権を侵害しないようにと頼んでいたのに、私はそれをしてしまいました...ちょっと「裏切り」や「売り渡し」みたいな感じでした。まあ、結局のところ、クラスメートは彼の素敵な写真について何も文句を言わなかったので、自然の成り行きに任せましょう。

四つ目の PPT は情報の授業で使うもので、また私が担当することになりました。もう何度も先生役を務めています。幸い、クラスメートの機転が良く言葉が時々私を助けてくれます。最も「困った」のは、あの長い数式を Google が計算してくれなかったことです、本当に恥ずかしかった！それに天網、www.tianwang.com、あなたは私の最後の尊厳さえも奪おうとするのですか?! 皆さん、試しにアクセスしてみてください、私の運は最悪です。もしあなたたちも開けなかったら、それはこの天網が天に昇ったということです、私はそれを 18 層地獄に送りましょう！

NOIP

NOIP（全国青少年信息学奥林匹克联赛）是中国面向中学生的信息学竞赛，旨在培养和选拔计算机科学领域的优秀人才。NOIP 分为普及组和提高组，参赛者通过编程解决算法和数据结构相关的问题。NOIP 的成绩通常作为进入更高层次竞赛（如 NOI，全国青少年信息学奥林匹克竞赛）的重要参考。

NOIP の正式名称は全国情報学オリンピックリーグです。今年は 10 月 16 日に予選があり、ただ「NOIP、私は来ました、準備ができていませんが」と言うしかありません。この 1 ヶ月間、私はこの長い間待ち望んでいた大会のために全力で準備してきました。2 年前、私はこのような競技に触れました、おそらく 08 年 11 月のことです。当時、私は自分で VB プログラムを書き、それから先生に質問し続けました。先生は私がこんなに興味を持っているのを見て、別の先生（彼は当時競技クラスを準備していました）に私を推薦しました。こうして、私は本当にプログラミングのキャリアを始めました。先生、あなたは伯樂です！本当にありがとうございます！私に心

の選択を追い、自分の興味を追い求める条件を与えてくれました。その時、私はプログラミングに夢中になり、時間があれば入門書を読み、夜の自習時間に読み、休み時間に読み、昼に読み、ベッドで読み、車の中で読みました.....09年の初日、私は新年の願いを書きました、今年のリーグ成績が決勝に進めることを願いました。結果は失望するものでした、一等賞、なんと決勝に進めず、後で先生に聞くと、先生は中学生グループには決勝がないと言いました。しかし、私は知っています、その一等賞は郊外グループのものでした、どんな概念かという、私は従化、蘿崗、増城のトップ10でした。本当に大きな皮肉で、笑うに笑えず、郊外では20人も参加していないと推定されます。私のレベルは私が一番よく知っています。私のレベルはとても悪いです！今日もそうです！今に至るまで、私はdp、グラフ理論、二分木、バックトラックさえも理解していません！衡陽の友達（ネット友達で、彼はプログラミングの達人です）、もしここを見たら、決して私を笑わないでください。

試合の日が日に日に近づいてきて、私は計画を立てました。朝6時に起きて、最短時間でクラスに行き、7時まで本を読む。ここで、クラスメートに感謝しなければなりません！彼は毎日私のために朝食を買ってくれます。なんて親切で助けになる人なんだろう！私の朝食はとてもシンプルで、クラスメートに言って、一番大きなパンを二つ選ばばいい。先生は、体の成長の最後の黄金期を大切に、栄養をしっかり摂るようにと言いました。ああ、また言うことを聞かなかった。ある朝の出来事で、私はとても恥ずかしい思いをしました。クラスメートたちは大声で朗読していました（よく6:40にはもう朗読の声が聞こえていました）、そして私は『C言語プログラミング』（老譚の本）を読んでいました。突然、先生が後ろのドアから入ってきて、直接私の方に来るのに気づきました。先生はあまり気にしないだろうし、7時前だと思っていました。しかし、先生は私に午後の試験があることを教えてくれ、ため息をつきました。時計を見ると、「7:05」、なんてことだ、私は何をしていたんだ！今は国語の朝読書の時間なのに！きっと先生に悪い印象を与えてしまったでしょう、先生の少ししかめっ面もそれを物語っていました。最近の国語の成績も目を覆うばかりで、しばらくして先生に呼ばれて、科目に偏りがある、勉強に身が入っていないと言われるかもしれません。Omlg!

そしてNOIPも、実質的な進展はありませんでした。混沌.....

競技の話、まず二つの例を挙げて説明します。

一人は朱元晨で、彼はISEF（インテル国際科学技術フェア、世界最大規模かつ最高レベルの高校生向け科学コンテスト）2004年の世界最高賞を受賞しました。間違いなければ、彼は最近ハーバード大学でコンピュータサイエンスの博士課程に在籍しているはずです。彼はコンピュータを使って3年間で英語を習得し、受賞論文（Real-Time Remeshing With Optimally Adapting Domain: A New Scheme for View-Dependent Continuous Levels-of-Detail Mesh Rendering）はコンピュータの3D描画方法に関する研究です。この論文の内容は、大多数の高校生には理解できないだけでなく、コンピュータサイエンスを専攻する大学生や専門家であっても、コンピュータグラフィックス分野を専門としていない限り、完全に理解することは難しいでしょう。彼の業績に私は羨

望を抱き、彼の成功を再現したい、たとえその10分の1でも、と思っています。彼の学習方法は確かに学ぶ価値があり、興味のある方は百度で検索してみてください。彼が04年に高校3年生だった頃、私はまだ2年以上の時間がありますが、コンピュータ工学で何か成果を上げることができるでしょうか？

もう一つの例は金斌で、若くして（18歳）Topcoderで数多くの強豪を破り、金賞を獲得しました。codeはコードの意味で、その名の通りTopcoderは最もトップクラスのプログラマー向け競技です。ACMやIOIと並び、世界中で広く認められた3つのアルゴリズム系プログラミングコンテストの一つです。決勝戦では、金斌と対戦するのは、数多くの荣誉に輝く大学生や、プロのプログラマーさえもいました。彼もまた中学2年生で情報学に触れ始めましたが、プログラミングへの情熱が彼を数年で驚異的な進歩へと導きました。なんと素晴らしい学習の手本でしょう！

これらのことを知ったとき、私は心から一つの信念が湧き上がるのを感じました。それは、複雑な知識を避けて、どんなに難しくても学び続けるということです。実際、独学でも十分に可能です（朱元晨が言ったように、「もちろん、先端研究を行う際には、周りに同世代の理解者がおらず、指導教官もいないため、自分自身に頼るしかありません」）。時として、怠惰が私たち自身を最初に打ち負かしてしまうことがあります。そう、彼女の座右の銘が一番良いですね――

「あなた自身があなたの敵であり、自分自身を打ち負かすことができるのはあなただけです。あなた自身があなたの神であり、自分自身を救うことができるのはあなただけです。」

同時に、時間がなく、歳月が人を待たないと感じていますが、ハーバード大学の図書館の格言にはこう書かれています――

「もう遅い」と感じた時こそ、実は最も早い時なのです。

目を覚ませ、君よ、早く気づけ！すぐに行動を起こせ！そう、今日から始めるんだ！目の前のことに集中すれば、君が望む成功を手に入れることができる！

私は今年16歳になり、もう若くはありません。馮侖（万通地産の会長、思想家とも呼ばれる）は19歳の若者にこう言いました：「君は今19歳で、29歳になる頃には3人の彼女がいるかもしれない。君は青春を抜け出してまだ数年しか経っていない、良い日々は始まったばかりだ。この時期は行動を起こす時で、他人と比較して結論を出す時ではない。同年代の人たちより少しだけ多く努力すれば、10年積み重ねれば、皆よりも非常に進歩しているだろう。」間違いなく、私もファストフード時代に巻き込まれていますが、何もかも速成することは不可能です。アインシュタインは63歳の時にこう言いました：「30歳以前に科学上の最大の成果を達成していない人は、永遠に達成することはない。」私はまだどれだけの年月を無駄にできるのでしょうか？時間はこの世界で最も公平なものです。誰もが毎日24時間しか持っていません。ハーバード大学の学生は毎日16時間勉強していますが、私の生活はいつも何か無意味なことに邪魔されています.....そう考えると、最近申請した『コンピュータ愛好者クラブ』も設立したくなくなりました。そうでなければ、このクラブはまた私の時間を浪費することになるでしょう。もしそれが私

に与える報酬が、人前で話す能力や組織能力を鍛えることなら、それならその時間で本を読んだ方が良いでしょう？そうです、私はただ誰もいない隅で静かに本を読みたいです。それは9科目の教科書でも、私が好きなプログラミングの本でも、カーネギーが書いた成功の聖書でも構いません。

時間はどんどん速く過ぎていく。これは、笑来先生の言葉を引用して説明できます：

「5歳の子供にとって、未来の1年は彼がこれまで過ごした人生の20%に相当します。一方、50歳の人にとって、未来の1年は彼がこれまで過ごした人生の1/50、つまり2%にしかありません。ですから、感覚的には、年齢を重ねるにつれて、時間がどんどん速く過ぎていくように感じられるのです。」

時間の慌たしさは、一種の寂しさを誘う恐怖のようで、霧のように避けられずにゆっくりと立ち上がり、私たちの来し方と行く末をぼんやりとさせ、思わず思考を断ち切らざるを得なくなる。

まず、今月の9回目の授業（通常この時期、クラスメートのほとんどは勉強に励んでいます）を思い出してみましょう。5組の皆さんに説明すると、私が毎日9回目の授業で慌たしくどこへ行っているのか、少し疑問に思っているかもしれません。私はコンテストのためにトレーニングに行っていました。4時45分以降、急いでコンピュータ室（私たちが普段情報の授業を受けている教室）に向かいます。よく私とクラスメート、俊然の3人で、1台のエアコン、1列の明るい照明、3台のコンピュータを楽しんでいました。先生にはとても感謝しています。忙しい先生の代わりに、実習の先生を手配してくださったのです。この実習の先生は私たちのクラスでも見かけたことがあります。あの日、私とクラスメートが授業をしている時にその場にいた、かっこいい先生です。彼の名前は謝東升で、とても気さくな方です。彼は最近大学院の受験を申請していて、来年先生が受験に成功することを願っています！彼は予選まで私たちと一緒にいて、予選が終わったら学校に戻ります（彼は4年生で、毎週都心と遠く離れた蘿崗を行き来しています。先生の恩は忘れられません...）。私はよくコードを打ち込んで、自分が書いたコードをコンピュータに入力して、実行できるかどうかを確認します。私は長いコードを静かに打ち込みます。プログラミングというものは、先輩が設計した言語が「`*^%&()[]|{}`」などの記号を多用するので、よく間違えてしまいますが、私の忍耐力も予想外で、実行が成功した後の安堵を待っているのです！悲しいことに、最近打ち込んだ3つのプログラムは、それぞれ少なくとも10個のバグがあります！Fで始まる悪態をつきたくになります...

幸いにも、私を幸福と喜びに浸らせるもう一つのことは、紙にコードを書くことです。8月27日から31日までの数日間がとても懐かしいです。毎日少なくとも4時間はコードを書く時間があり、「迎新会」（いわゆる第一回玉岩新疆クラスの歓迎会）のリハーサルは午前中だけでした。短い休憩時間でも、私は興味深くコードを書いていた。『Cプログラミング』の各章には10以上の練習問題があり、それぞれの問題に約30分かかりますが、自分でも見て気持ちの良い完全なプログラムのコードを書けることは、価値があります！クラスメートが「天書」と呼ぶもの

は、私にとっては非常に美しく優雅な記号です。そして、クラスメートが五線譜と見なすものは、私にとっては天書です.....

合宿中、仕事の関係で先輩の女性と知り合いました。この出来事も今月のトップ10に入るでしょう。彼女は私の視野、特に国際的な視野を広げてくれました。英語が得意な人は、国際的な視野も優れています。国際的な視野は朱元晨が言う学習経験と似ており、「広い視野を持ち、世界と競うこと」が必要です。先輩も非常に革新的な精神を持っており、彼女のアイデアが成功することを願っています。

合宿中、時々気が散ってインターネットを閲覧することもありました。開復先生のイノベーション・ワークスがついに製品をリリースしました。その一つが「豌豆荚手机精灵」です。Androidスマートフォンを持っている方は、ぜひダウンロードしてください。この親切なスマートフォンアシスタントは、スマートフォンの楽しさを存分に味わわせてくれます。いくつかの素晴らしい機能があり、デスクトップPCにインストールして、スマートフォンとPCを接続すると、PCからスマートフォンの連絡先（スマートフォンを紛失した場合に非常に役立ちます）、メッセージ（PCから個性的なメッセージを一斉送信、特に祝日に適しています）、アプリケーションや音楽などを管理することができ、またPCにスマートフォンのデータをバックアップすることもできます。さらに、主要な動画サイトの動画をワンクリックで直接ダウンロードできます。また、Androidでなくても、あまり悲しまないでください。そのマルチメディア機能は、SDカードを使用するすべてのモバイルデバイスをサポートしており、他のプラットフォームのスマートフォンや非スマートフォン（これには驚きました）、MP3、MP4 プレーヤー、PSP など、すべて豌豆荚に接続してマルチメディアリソースをダウンロードできます。最新バージョンでは、wifi 接続も可能で、スマートフォンを部屋に置いたまま、PCで簡単にクリックするだけで、オンラインの動画や音楽をスマートフォンにダウンロードできます。データケーブルは必要ありません。ベッドに寄りかかって土豆を見るのは、なんて気持ちの良いことでしょう。ここで、開復先生の起業の成功を祈ります。2年前、このような卓越した中西方の才能、メンターに出会いました。そこで、彼が中国の学生に宛てた7通の公開書簡を集め、週末に印刷して学校に持って行って読みました。その間、彼は私に選択の知恵や卓越した価値観などを増やさせてくれました。開復先生の知恵は、私を中国の学生が抱えるいくつかの伝統的な問題から解放してくれました。ありがとうございます！あなたの公益性事業への貢献は、無数の人々に利益をもたらしています！興味のある方は、5xue.com で公開書簡をダウンロードしてください。

話を戻すと、選択の知恵は私に高校入試の志願を直視させ、今でも後悔せず、成功した選択だと考えられる決断をさせてくれました。私はすでに知恵を持って、手に入れるべきすべてを勝ち取りました。あとは、私が忍耐強く努力するのを待つだけです。それでは、志願の背後にある物語を明らかにしましょう。当時、私は華附に行きたいと思っていました。総合型人材を育てる学校で、長い間私の心を躍らせていました。先生に志願の相談をしたところ、彼女からのアドバイスは、最高の華附を選ぶか、玉岩に残るかのどちらかでした。5月の陽射しはいつも通り、暖か

く涵月湖を照らし、空気には微かに甘い清々しい香りが漂っていました。遠くに立つ体育館は、灰色の中に空の紺碧が微かに輝き、ほぼ円形の食堂は、力強くそびえ立ち、活気に満ちた雰囲気放っていました。志願を記入するのは、またしても心に従う選択でした。スティーブ・ジョブズ（世界を変えた Apple の CEO）は言いました：

「最も重要なのは、勇気を持って自分の心と直感に従うことです。自分の心と直感だけが、あなたの本当の考えを知っているのです。それ以外のものはすべて二次的なものです。」

私は自分の心に耳を傾け、それが私に伝えるのは、私が好きなのはプログラミングであり、研究のような仕事をするということだということです。私は Pascal を空き時間に読んでいたあの日々が好きでした。そして、玉岩を選ぶことで、高校に入学してからもそれに没頭し続けることができます。また、自分が興味を持っていることを研究するための最も多くの時間を得ることができます。

その時、小さな火種が心の中でゆっくりと輝き始め、やがて燃え上がる炎へと広がっていった。はっきりとは見えなかった潜在意識が、次第に荒々しく成長し、明確な意志へと変わっていったのだ。（その後、弟子が何度か私に再考を促したが、私は迷うことなく自分の選択を彼女に伝えた。）

コンピュータの前に座り、志願書を記入するとき、私は目を閉じて、もう一度自分に問いかけました：「あなたは、準備はできていますか？」

「はい、もう準備できています！」心の奥底からの声が答えます。

ここで、私は人生最初の重要な選択をすることになるのだと理解していました。

前路には多くの不確実性が待ち受けているが、それでも私は心の声信じています。心に従う選択こそが、自分の中に眠る最大の可能性を引き出し、次の目標に向かって全力で突き進む原動力になると確信しているからです。

高校に入学して1ヶ月が経ち、玉岩の便利さと習慣の力を本当に実感しました。私はこの若い学校を自由に行き来し、最短時間で最高の成果を得る方法を考えています。今年の NOIP が私に良い結果をもたらしてくれることを願っています！

学習

学習というものは、本当に簡単なことではありません。中学三年生の時、私はこう考えていました。もし高校の勉強とオリンピック競技（奥賽）の両立が難しいなら、勉強は少し劣っても、奥賽で良い成績を収めればいいのだと。しかし、後に私はこの考えが間違っていると深く認識するようになりました。それは、ある言葉が私の考えを変えたからです――

「学問は確かに人生の全てではない。しかし、人生の一部である学問さえも克服できないのであれば、他に何ができるというのだろうか？」

ハーバード大学図書館に掲げられた格言は、私に深く考えさせました。確かに、学習は高校生活の全てではありませんが、高校生活の一部である学習さえも克服できないのであれば、他に何ができるでしょうか?! 主要科目は依然として最も重要です。

しかし、この1ヶ月間、私の主要科目が少し赤信号を点灯しています。先生が言った「6」で始まる3桁の順位は、私の国語を指しているのでしょうか? 国語の暗記テストで歴史的なクラス最下位を取ってしまいました。数日前、クラスメートが興奮して私に言いました、「国語の選択問題、満点38点中35点取ったよ」と、まるで仙人のように輝く笑顔で。国語の授業で、先生は私たちのクラスの選択問題の最高点がたった34点で、6組には35点が3人いると言いました。どうやら、国語の問題は、すでに「昇華」してクラス全体の問題となっているようです。先生は、私の5点(10点満点)の暗記テストの答案を持って、「国慶節にしっかりと覚えて、しっかりと書けるようにしなさい」と言いました。その言葉のトーンは批判的ではありませんでしたが、私も知っています、国慶節の休みに古文の単元を全部覚えなければ、もうこのようなトーンでは済まないでしょう。

今月も、すべての授業に集中していたわけではありません。笑来先生の言葉を二つ引用して、自分自身に戒めたいと思います――

「自分の学習成果で先生を評価するのは、往々にして正しくない。」

「先生が嫌いだからといって、勉強を拒否しないでください。」

小さな発見

同級生はいつも休み時間の体操をととても早く覚えるので、彼の身体能力の理解力に感心します。また、体育委員が早く回復することを願っています。そうすれば、私が休み時間にリードする必要がなくなり、私の体操もあまり標準的ではないと言われているので、みんなの前で下手なことを披露するような気がしてしまいます。昨日の体育の授業で体操をしていると、いつも同級生から「全部早い、遅い」と言われます。私は...@_@ そんなにひどくないと思いますが、体操を学ぶ時に時々集中していないため、いくつかの動作が標準的でないことは認めます。でも、全部が標準的でないなんて、ちょっと自信をなくしてしまいます。

先生の知恵は、一部カーネギーの作品からも得ています。彼がクラスの図書館に寄贈した本の一つが『人を動かす』(へへ、私はこんなに興奮する本を見るとすぐに借りて、国慶節に早く読み終えて、より多くの人に役立てたいと思っています)でした。この本は、先生が生活に向き合う余裕のある能力をある程度鍛えたに違いありません。先生がまとめた高校の法則も、ここでシェアします(私は典型的な「持って来る主義者」です==):

「高一は忙しい(9科目あるから)、高二は自由(3科目減る)、高三は頑張る。」

この教条を私は深く信じており、それによってサークル内でのいくつかの問題に対して、はっきりとした選択をすることができました。

私たちの「四捨五入」寮（504 です）には、ストリートダンスをする人が2人、管楽器を演奏する人が1人、オリンピック競技の私、早起きの人1人、そして「声もなく、驚かせる」天才が1人います。自然と生活リズムが一致することは難しいです。

願いを込めたランタン

私たちのクラスは本当にチームスピリットにあふれています。二つの例を挙げましょう。一つはノートブックについてです。ある週末、クラスメートが全員分のノートブックを卸売市場で買い、学校に届けてくれました。これにより、先生の机の上のノートブックは非常に整然と並びました。みんな、そのクラスメートに心から感謝しています！安くて美しいノートブックですからね！だから、みんなは迷わずそのクラスメートをクラス委員に選びました！彼女が私たちのクラスを伝説的な奇跡へと導いてくれることを願っています！

二つ目の例は願い灯りです。これはクラスメートの素晴らしいアイデアでした。中秋節の一週間前、クラスメートは私たちに願い灯りの数と色を書かせ、数日後にそれらを届けてくれました。中秋節の前夜、私たちのクラスはパーティーを開き、そのクラスメートが司会を務めました。パーティーにはいくつかの超ハイライトがありました。クラスメート同士のやり取り！クラスメートの驚くべき回答！クラスメートのキラークエスチョン！クラスメートと黒板の熱烈なキス！^_^！何度も笑いがこみ上げました。中秋節が過ぎ、学校に戻った日の夜、三時間目の自習が終わった後、私はそのクラスメートと一緒にテニスコート近くの砂場に行きました。私たちは慎重に孔明灯を広げました（前回は穴を開けてしまい、飛ばすことができず、火をつけたために美しい孔明灯を踏み消さなければならなかったからです。その経験から、私は孔明灯をより大切にするようになりました）。孔明灯の下のろうそくに火をつけ、飛ばしました！イエス！赤々とした孔明灯は夜空を駆け抜ける漂泊のタンポポのようでした。今夜は美しい夜です。私とクラスメートはそっと願いを込めました。願い灯りがその魔力を発揮する瞬間を楽しみにしています！

不平不満のない世界

先週末、まだ「電子図書証」を持っていなかったもので、卓越アマゾンでいくつかのベストセラーを購入しました。その中の一冊は『A Complaint Free World』、中国語名『不抱怨的世界』で、いくつかの昼休みの待ち時間を利用して、その中の知恵を消化しました。皆さん、一緒に不抱怨活動に参加しましょう！ゲームの概要：

アメリカで有名な牧師、ウィル・ボーウェンは、「不満を言わない」運動を始めました。この活動では、参加者それぞれに特別な紫色のブレスレットを配布し、自分が不満を言ったことに気

づいたら、そのブレスレットを反対の手に付け替えるように促します。これを繰り返し、最終的にそのブレスレットを同じ手に 21 日間連続して着け続けられるようになるまで続けるというものです。

紫色の魔法のブレスレットの使い方は以下の通りです：

1. リストバンドを片方の手首に着けます。
2. 自分が不平を言ったり、噂話をしたり、批判していることに気づいたら、リストバンドをもう一方の手に移動させます。
3. これを繰り返し、21 日間連続で不平を言わず、批判せず、噂話をしないという目標を達成するまで続けます。
4. 継続してください。平均的な成功までの期間は 4～8 ヶ月です。

実は、紫のブレスレットを使わなくても良いのです。今すぐ輪ゴムを手巻き、コインや小石をポケットに入れ、ペーパーウェイトを机の反対側に移動させたり、自分自身を確実に監視する方法を見つけてください。そして、自分が不平を言ったり、批判したり、噂話をしていることに気づいたら、その物を移動させます——輪ゴムを別の手に移したり、コインを別のポケットに入れたり、文具を机の反対側に移動させたりします。その物を移動させることが重要で、この動作は意識に深く刻まれ、自分の行動に気づかせてくれます。必ずそれを移動させなければなりません。例外は一度も許されません。

一緒に来てください！一緒に不平を言わない世界を作りましょう！不平を言わない世界を想像してみてください、それはどれほど美しい世界でしょう……

まとめ

最近、『The Quick and Easy Way to Effective Speaking』という本で、私が抱えていた上記の悩みの原因が、たった二つの言葉に集約されていることを知りました。それは「集中」です。私はこの能力をしっかりと訓練するべきでした。古文を暗記できなかったのは、集中力が足りなかったからです。NOIP の準備も、十分に集中して取り組みませんでした。勉強や授業にも、集中力が欠けていました。体操を学ぶ際、ある日私は集中してみたところ、とても上手にできて、リズムと動きが合うようになりました。しかし、それは最後の数回のレッスンでのことで、それ以前のレッスンでは集中力が足りず、うまく学べませんでした。ルーズベルトの事例は、成功の鍵を具体的に教えてくれました——

1912 年のシカゴ党大会の期間中、彼の本部は国会ホテルに置かれていました。群衆はホテルの下通りに押し寄せ、旗を振りながら「テディ（ルーズベルト）が欲しい！テディが欲しい！」と叫んでいました。群衆の叫び声、楽隊の演奏、行き交う政治家たち、急ぎの会議、さまざまな協議活動——このような混乱と騒音は普通の人ならすでに心を乱されていたでしょう。しかし、

ルーズベルトは部屋のロッキングチェアに安らかに座り、すべての混乱と騒音を忘れ、古代ギリシャの歴史家ヘロドトスの作品に没頭していました。ブラジルの荒野を旅している間、毎晩キャンプ地に到着すると、彼はすぐに大きな木の下の乾いた場所を見つけ、キャンプ用の小さなスツールと彼が常に携帯していた英国の歴史家ギボンの『ローマ帝国衰亡史』を取り出し、すぐに本に夢中になり、激しい雨、キャンプ地の騒音や活動、そして熱帯雨林特有のさまざまな音を完全に忘れていました。

もし私がこのような集中力を持っていたら、10月はずっと素晴らしいものになるでしょう！